

〔様式2-2〕 むきばんだ史跡公園活用事業提案書

事業内容	回数 (発信の頻度、年 間の実施回数等 を記載)	人数等 (参加人数、SNSの閲覧に係る 目標数値等を記載)	料金 (体験料などが必要なも のは記載)	備考
1 「とっとり弥生の王国情報創造」に係る活用等事業				
●Webページの制作と運営、情報発信	既存のWebページをベースに、カスタマイズして運営します。別途行う利用者アンケートなどを分析・活用し、適切な情報発信を行うことなどにより、集客につなげていきます。			
●Facebook、Twitter、YouTube、Instagram、Google Mapを活用した情報発信	これまでのアンケートから県外からの来園者に効果が高かったSNS (Facebook、Twitter、YouTube、Instagram) をより効果的に使って、来園者の増につなげていきます。 さらに、Google business profileを活用し、リアルな情報の発信、口込みへの対応、MEOの手法などにより、より多くの人に情報を届けます。			
●史跡公園の広告及び各種イベントのポスター、チラシ、リーフレットの作成	史跡公園の年間イベントの紹介リーフレット・チラシ・ポスターを作成し、内容は用途(教育旅行、一般旅行)に分けて作成・配布します。 ・紹介リーフレット 年1回(用途別=春用と秋用、その他必要に応じて作成) 子ども(学校)用、一般用を作成。また、夫々多言語用(英語)作成			
●その他情報発信等(具体的内容)				
・青谷かみじち史跡公園等との積極的な連携	県内の地下の博物館といわれる青谷かみじち史跡公園とも積極的に連携し、鳥取県=「弥生の王国」を全国にPRし、来園者の増を図ります。特に、国史跡青谷上寺地遺跡整備活用基本計画にある「倭人ネットワーク」の構築へ参画し、効果的な情報発信にもつなげていきます。			
・鳥取県ミュージアム・ネットワーク(TMN) 及び山陰史跡整備ネットワーク会議の活用	県で加盟しているTMNや山陰史跡整備ネットワーク会議とも引き続き連携し、他の関係施設や研究機関等ともさらに相互連携を図り、効果的な情報発信を行います。			
・オリジナルグッズの開発	主催事業や体験事業を実施する中で、参加者の声や要望、成果物などを活用した新たなオリジナルグッズの開発を、関係者、関係団体等とも連携して、積極的に進めていきます。			
2 「弥生文化を体感する」に係る活用等事業				
●一般向け体験等メニューの提供				
火起こし(無料)	◎定番メニュー 休日(土・日・祝日・夏休み) ◎スペシャルメニュー 土・日・祝日限定の日替わり弥生体験	年齢を問わず楽しめます。 なお、幼児等は保護者同伴などにより実施可能だと考えています。 また、新しいメニューの開発も随時行って参ります。	材料費等の実費を徴収します。	(所要時間約30分)
勾玉づくり(400円~590円)				(所要時間約60分)
土笛づくり(390円)				(所要時間約60分)
鏡づくり(900円)				(所要時間約45分)
石包丁づくり(430円)				(所要時間約60分)
絵はがきづくり(無料)				(所要時間約20分)
組紐づくり(無料)				(所要時間約30分)
銅鐸づくり(1800円)				(所要時間約30分)
土器・はにわづくり(390円)※乾燥、焼き上げに約1ヶ月必要				(所要時間約120分)
カゴづくり(400円)				(所要時間約120分)
本格石包丁づくり(330円)	(所要時間約60分)			
クロモジ楊枝づくり(無料)	(所要時間約30分)			
はくつ体験(無料)	GW明け ~11月末 日曜・祝日限定			11:00~11:30
※修学旅行や遠足など教育旅行に対しては、上記のメニューの中から、学年に応じた内容を提案していきます。				
※上記のメニューを実施する中で、新しいメニューの開発も随時行います。				
●県が行う調査研究の成果等を踏まえて行う講座等	各講座の実施に当たっては、企画段階から参画し、県等との緊密な打合せのもと講座の目的が達成できるよう企画・運営を行います。さらに、講座のアーカイブ配信などを検討し、より多くの方に届くような取り組みを検討します。なお、講座の円滑な実施のため、日頃から県等と連携を密にするとともに、自己研鑽に努めます。			
「弥生のもづくり講座」の企画と運営				
「弥生の森講座」の企画と運営				
3 「弥生文化と地域に学び、楽しむ」に係る活用等事業				
●史跡公園及び周辺地域の文化、文化財、名所、旧跡等に関する解説	史跡公園及び周辺地域の文化、文化財、名所、旧跡等を案内できるわかりやすい地図を配置するとともに、職員研修やマニュアルを作成するなど、職員誰もが基本的なことの解説ができるよう努めます。			

事業内容

2	<p>「弥生文化を体感する」に係る活用等事業</p> <p>●むきばんだ史跡公園オリジナル体験メニューの企画と提供</p> <p>・弥生のフィールドミュージアムである当史跡公園では、様々な地区があり、それぞれにすばらしい特徴があります。 「洞ノ原地区」…復元建物や倉庫、首長墓と背景に広がる雄大な景観、 「妻木山地区」…遺構展示館や弥生のムラ、 「仙谷地区」…当史跡最大の首長墓と弓ヶ浜や日本海の絶景、 「妻木新山地区」…自然散策が楽しめる「むきばんだの森」など。 これらの素材をどのように活かして新しいオリジナルメニューを作っていくのか、そのためには、県の調査研究の成果や専門家の助言・指導、利用者の声やアンケートなどを踏まえ、県等や関係機関、類似施設などと連携して検討を進めていきます。</p> <p>(例示)</p> <p>⇒ 利用者アンケートより ▽国内最大級の史跡 見晴らしがよい・景観がよい = 洞ノ原、仙谷からの眺望などのすばらしい景観を題材に、写真コンクールなどの開催 (・写真は誰でも参加しやすく、かつ、来園しなければならない。・成果品が、オリジナルグッズの開発などに活用できる。) ▽時間を忘れてゆっくり過ごせる・開放感 = 季節により花見や星座観察、広さを活かしたウオーキング、サイクリングコースの設置 = 季節を限定した、屋台テントやキッチンカーによる軽食の提供など</p> <p>⇒ 修学旅行等教育旅行への活用 … 小・中・高に合わせた体験プログラムを旅行エージェントに提示</p>
4	<p>「史跡を活かした地域振興」に係る活用等事業</p> <p>●地域連携による「むきばんだ日和」、「むきばんだフェスタ」の開催</p> <p>・昨年度開催した際の課題等について、県と情報共有し連携を密に図りながら、より一層充実させた「むきばんだ日和」と「むきばんだフェスタ」を開催します。開催後も参加者や関係者、地域の方々の声を聞きながら、常にブラッシュアップを行い、内容の充実に努めます。</p> <p>活用例</p> <p>⇒ よなご・マルシェ(米子商工会議所が主催するマーケットイベント)をむきばんだ史跡公園が主催するイベント会場で開催してもらい、むきばんだ史跡のイベントを盛り上げると共に、よなご・マルシェが行う地産品の商品販売にも貢献していきます。</p> <p>⇒ 大山僧兵太鼓や中山いさい踊りなど地元団体の披露の場所として場を提供し、イベントとともに地域を盛り上げていきます。</p>
提案内容	<p>●地場産業や周辺文化施設との連携</p> <p>・平日頃から地場産業や周辺の文化施設と連携を図り、課題や求めているものなどの情報を共有し、主催事業や受入事業を考える際には、相互にメリットがあり、かつ、地域振興に繋がるような事業となるよう企画します。特に「誰をターゲットにするか、参加者に満足感を与えられるか」など連携施設等と十分に検討するとともに、開催後も参加者や関係者、地域の方々の声を聞きながら、常にブラッシュアップを行い、内容の充実に努めます。</p> <p>(例示)</p> <p>地場産業 ・境港漁港(特に6～7月に水揚げされる本マグロと11～3月に水揚げされる松葉カニは人気が高く、県外の旅行会社が多くツアーを組む。このツアーの企画にむきばんだ史跡公園を入れ込んでもらうなど水産業との連携を図る。) (当園に展示してある弥生時代に食していた魚介類(マダイ、黒鯛、サザエ、アサリ)を近隣の漁港で比較的入手しやすいものを使い、当時の調理法(加熱は行う)により、調理(屋外)し、竪穴住居で食事を行うなど。)</p> <p>周辺文化施設 ・花回廊(日野郡南部町)…すでに「花絵作成・展示」等を実施しているが、より発展させた連携はできないか検討する。 ・植田正治写真美術館(西伯郡伯耆町)…フォトコンテストなどの実施に際し、連携ができないか検討する。 ・米子城跡(米子市)…絶景の城と呼ばれる米子城と眺望では負けてないむきばんだ史跡公園との連携ができないか検討する。</p> <p>その他 ・施設ではないが、多目的広場の芝生エリアで、県内(地元)アマチュアバンド等による夕焼けコンサート等ができないか検討する。</p>
5	<p>「観光資源としての活用」に係る活用等事業</p> <p>●県・市の観光連盟等と連携によるエージェントへの情報発信</p> <p>・県や市の観光連盟等と連携して、歴史遺産や教育観光資源としての魅力向上を図り、観光情報説明会や各エージェントへの情報発信を積極的に行い、観光商品や教育旅行の企画につなげます。</p> <p>⇒ 県観光事業団が管理する施設(青谷かみじち史跡公園、とっとり花回廊、夢みなとタワー等)とむきばんだ史跡公園の施設を巡るツアーを「弥生の王国」として、県観光連盟と連携して、エージェントに情報発信を行い、観光商品の企画・提案を行う。</p> <p>⇒ 教育旅行についても、県観光連盟の教育旅行誘致コーディネーターや関係団体、県等と連携を密に図り、教育旅行の企画につなげます。</p>
案内	<p>●観光商品の企画、提案(売り込み)</p> <p>・県や市、観光連盟等と連携して企画した観光商品や教育旅行について、県内の観光地や教育関係団体等を積極的に訪問し、提案を行うとともに、併せて、当園の案内リーフレットやチラシ、主催事業や受入事業についても周知を図っていく。</p>
提案内容	<p>●県内外の類似施設や観光施設との連携</p> <p>類似施設</p> <p>・青谷かみじち史跡公園は同じ県立施設であると共に、同じ弥生時代の史跡公園であることから連携を図りやすい。また、青谷かみじち史跡公園は多種多様な遺物があり、むきばんだ史跡公園には優れた屋外展示物が多数あることから、お互いのイベントで連携を図るとともに、エージェントにより2つの施設を組み込む観光旅行の誘致を図りたい。</p> <p>・伯耆古代の丘公園(上淀白鳳の丘展示館を含む)がすぐ近くにあり、同じ弥生時代の史跡となっている。むきばんだ史跡公園が行うイベントの中で、連携できる部分を組み込み相互の連携を図る。また、むきばんだ史跡公園には、無料で貸出しを行っている電動のレンタルサイクルがあり、それを相互連携のなかで、有効活用を図る。</p> <p>・また、利用者アンケートの分析により、島根県からの来園者も一定程度ある。県等や観光連盟等と連携し、例えば、考古学的に類似する四隅突出型墳丘墓のある西谷古墳群などが隣接する出雲弥生の森博物館などと連携し、かつ、ターゲットを考古学ファンに絞った観光旅行などを企画し、エージェントに提示するなど取り組んでいきたい。併せて、「倭人ネットワーク(国史跡青谷上寺地遺跡整備活用基本計画より)」の構築にも参画し、連携事業の推進に寄与したい。</p> <p>観光施設</p> <p>・県観光事業団の管理する「とっとり花回廊」では、以前にむきばんだ史跡公園内にむきばんだ史跡公園のシンボルマークを入れた花壇を設置した際に協力してもらった事がある。今後も県観光事業団の管理する観光施設等とも連携し、イベントを行う際には、相互に誘客を図る仕組みや情報発信を行うなど、相互連携を図っていきたい。</p>